



発行日：令和 3年 3月 3日

発行者：居宅介護支援事業所スマイルゆい

管理者 古村久美子



年度末となりました。今年は介護保険の報酬改定の年です。まだサービス事業所からの情報がありませんが、利用者様にできるだけ正確に情報をお伝えしたいと考えております。今後とも、サービス事業所の皆様、医療機関の皆様、地域包括支援センターの皆様との連携を大切にしたいと考えております。ご指導のほどよろしくお願い致します。

大分認知症Webサイトおれんじのご紹介

サイトの開設を記念してフォーラムがオンラインで開催されました。

4人の若年性認知症の当事者の方、支援者の方の声を聞くことが出来ました。皆さんの笑顔に触れて、なかなかこんな機会はありませんので感激しました。この日は皆さん笑顔で、「今できることを楽しみながらしている」というお話をされていましたが、やはり初期は不安や葛藤の日々だったようです。

・大分市からTさん(男性)・・・気持ちでここまで来た。喧嘩も良くするが脳が刺激されているようだ。農作業やソフトボールもして体を動かしている。県内を巡っていろいろな人と出会いたい。

・日田市のSさん(女性)・・・(60代のかわいい方でした。)以前より手芸や山登り料理、バレーボールとなんでもできる方。「頑張ると苦しい。思い出せなくてもいい。自分を責めないようにしている。その場で出来ることをしている。支援者でもあるお友達の方は、彼女から学んだり励まされたりしているようでした。

・中津市のMさん(男性)・・・毎日覚書を付けている。ドリル・運動で刺激を受けている。デイサービスの他に乗馬・カラオケ・ボーリングも楽しんでいる。傍らの娘さんは「体の変調を訴えることができないので気に掛ける必要がある。出来ることはさせて・・・。古川医師がこのような支援者につないでくれた」と感謝されている。

・家族の会の足立さんの奥様・・・診断されて14年。最初は交換日記をしていた。ご本人の希望は「①治したい②就労したい③同じ病気を持つ仲間を作りたい。」であった。視空間認知障害があり、工夫をした。お互いの存在はパートナーだった。

・大分市のKさん(女性)・・・大学病院のDrからカフェを紹介され、デイケア利用へと進んでいった。支援者：つらい時期もあつての今がある。一步踏み出す勇氣、挑戦があった。

三重野大分大学教授のまとめ・・・早期診断、医療機関が地域の資源へつなげることが必要。専門職だけでなく支援者をつなげ、出来ること得意なことにつなげる。辛い時期から連続で切り離さず、失敗を一緒に乗り越えて考える。そうしてお互いに元気づけられ、希望を持てるようになる。皆さんの語れる力がすごい。

古村感想・・・「認知症の人も支えられる・介護される側だけでは生き生きと暮らせない。役割があるパートナーであることが大事。」ということを確認しました。

～ガイドブック「認知症の人と家族の思いをより深く知りたいあなたへ」のご紹介～

「家族の会」の発刊で学習に活用できます。申し込みは「家族の会」ホームページからできます。

<https://www.alzheimer.or.jp>

おおいた認知症情報サイトおれんじ

<https://orange-oita.jp>



令和3年度介護報酬改定について

介護報酬改定の概要 ～厚生労働省介護給付費分科会資料より

新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「**感染症や災害への対応力強化**」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「**地域包括ケアシステムの推進**」「**自立支援・重度化防止の取組の推進**」「**介護人材の確保・介護現場の革新**」「**制度の安定性・持続可能性の確保**」を図る。

改定率は0.7%増で、ほとんどのサービスの基本単価について1単位（10円）～2単位（20円）のプラス改定となります。この0.7%増のうちの0.05%分については、令和3年4月1日～令和3年9月30日までの間の新型コロナウイルス感染症対策のための特例的な費用とし、さらに基本単価に0.1%上乗せされることとなっています。今回の改定にあたり、すべてのサービス共通の取り組みの強化が求められる内容は以下の5つのポイントに示されています。



1. 感染症や災害への対応力強化

■感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築

2. 地域包括ケアシステムの推進

■住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取り組みを推進

3. 自立支援・重度化防止の取組の推進

■制度の目的に沿って、質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進

4. 介護人材の確保・介護現場の革新

■喫緊・重要な課題として、介護人材の確保・介護現場の革新に対応

5. 制度の安定性・持続可能性の確保

■必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図る

居宅介護支援費については、質の高いケアマネジメントの推進から特定事業所加算の見直しや逡減制の見直し（情報通信機器の活用又は事務職員の配置が必要）、医療機関との情報連携強化から通院時連携加算の新設や看取り期におけるサービス利用前の相談・調整等に係る評価を支援費として算定される等が予定されています。

その他にも改定内容は色々ありますので、詳細は厚生労働省HPへ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16033.html



【介護に関するお問い合わせ】

居宅介護支援事業所 スマイルゆい

☑住所：〒870-1103 大分市敷戸西町1-3 ミスチャ-ハウスえん2F

☑TEL：097-504-7858 ☑FAX：097-504-7848

☑E-MAIL：furumura@wonder.ocn.ne.jp

編集後記



コロナウィルス発生から1年が過ぎ、今の生活スタイルもすっかり定着しつつありますね。暖かくなると、お出かけしたくなる気持ちがムクムクと湧いてきますが、まだまだ油断は禁物。しっかり対策をしてお出かけするようにしましょう。ちなみに、今年の桜予報は3月20日前後のようですよ♪

